

「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」
 「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」

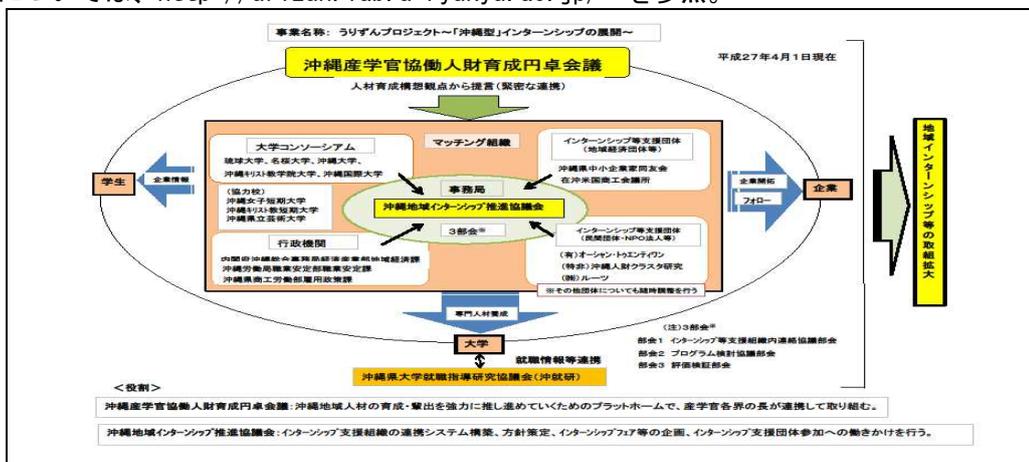
最終評価結果

大学グループ名	琉球大学グループ
取組名称	うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～
地域インターンシップ推進組織名	沖縄地域インターンシップ推進協議会
取組担当者	琉球大学理学部教授・キャリア教育センター長 松本 剛
連携校名（★幹事校）	★琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学（計5校）
連携したインターンシップ等支援組織等名（団体名・企業名等）	【NPO法人等】有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会、株式会社ルーツ 【地域経済団体等】沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所 【大学コンソーシアム等】沖縄産学官協働人材育成円卓会議、沖縄県就職指導研究協議会 【自治体等】内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、沖縄労働局

事業概要

本事業は、沖縄県内の就業問題、すなわち、有効求人倍率が低く雇用吸収力が弱いにも拘らず、多くの学生が県内での就職を望んでいるという問題、失業率が全国ワーストワンであるという問題などの解消のため、沖縄の基幹産業であり特区に象徴される観光産業及びIT産業、「健康」・「安全」として定評のある県産品の生産、米国系会員企業を擁する団体である「在沖米国商工会議所」を構成する産業など、「沖縄らしさ」を活かした産業界と連携し、琉球大学を幹事校として、沖縄県大学就職指導研究協議会（沖就研）傘下の普通学部を有する4年制大学を中核とした恒常的なインターンシップの機会の提供を行う体制を確立するものである。以て、学生が各自の「天職」を得るための過程として、入学から卒業までのキャリア教育の中でインターンシップをフル活用し、学生が在学中に「社会人基礎力」を獲得して卒業後各界で活躍できるための教育プログラムを確立するための推進組織を確立する事業である。

※詳細については、<http://urizun.lab.u-ryukyu.ac.jp/> を参照。



最終評価結果＜総合評価＞ A

＜コメント＞

統一したインターンシップ推進組織が整備されておらず、大学毎、学部毎にインターンシップが実施されるといった厳しい状況にあった沖縄県において、事業を通じて大学等と産業界が連携する体制が構築されたことの意義は大きく、離島を含む地域全体を対象とし、最終的に地域内の全ての高等教育機関が参加した点は高く評価できる。また、幹事校がリーダーシップを発揮し、米国商工会議所との連携や、英語を活用したインターンシップ等、地域の特色を生かした取組も実施されている。体系的な「専門人材養成テキスト」等、今後のキャリア教育の充実にも寄与する成果物も作成されている。

一方で、地域全体での現状や課題の認識は不十分であり、大学毎に取組の成果には差が見られる。また、まずはインターンシップを普及するという段階であり、専門人材の育成については、継続して、教職員の意識改革に積極的に取り組む必要がある。加えて、具体的な成果や評価に関する基本的な方針を作り、評価体制を整備することも重要である。

今後は、地域の特性や課題を踏まえ、産学官の一層の連携、就職までを意識したより進化した取組への発展と専門人材育成、九州や本州への展開を含めた事業の拡大、充実が期待される。